

白山自然保護センター中宮展示館 中期経営目標

(実施期間 令和5年度～令和9年度)

令和5年3月 策定

1 施設の設置目的

白山地域の自然・生活文化、自然環境保全に対する理解を深めてもらうことを目的として設置しています。

2 施設の果たすべき役割

展示や映像を通じて、白山の豊かな自然、白山麓の人々の暮らしや自然との関わり方などについて理解を深めてもらうこと、また、実際に周辺の観察路を歩くことで、それぞれの季節でしか味わえない生の自然を体験し、自然のすばらしさやその保護に対する意識を向上してもらうことを役割としています。

3 事業内容

(1) 展示活動

- ・白山の豊かな自然や、そこに住む人々の文化・暮らしについて理解を深めていただけるよう、展示室には白山のブナ林などを疑似体験できるコーナー、昔の白山麓にあった分校の教室を再現したコーナーなどを設け、映像ホールではハイビジョンテレビで白山の自然について紹介しています。そのほか白山の動植物・地質を中心に収集した収蔵品の展示を行っています。(開館期間：5月1日～11月10日)

(2) 普及活動

- ・四季折々の白山の自然をありのまま感じてもらい、併せて自然保護意識を高めるために、いしかわ自然学校事業における自然観察会等のプログラムの開催や、白山自然ガイドボランティアによる周辺観察路のガイドウォークを実施しています。

4 現状と課題

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・平成29、30年度には約3万人の入館者数でしたが、令和に入り、土砂崩れによるホワイトロード通行止めや新型コロナ蔓延防止等の措置により、断続的な臨時休館を余儀なくされた結果、令和元年、3年度はいずれも2万人にも遠く及ばず、令和2年度に至っては通年閉館となりました。また、中宮展示館開催イベント(春・夏・秋)の楽しもう!白山麓daysでも、令和3年度は来館者が4,767人と平成29年度と比べ、約2,000人近く減少しました。
- ・映像ホール・テーマ展示室に新たに「白山の花」の写真を掲示し、白山地域に生息する花を再確認する場を設けたり、常設展示の保守点検に努めました。

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のために、来館者の検温・消毒、展示物の消毒、館内の換気に努めました。
- ・ガイドウォークを実施してもらう白山自然ガイドボランティアを平成11年度から4年に1回募集・養成しており、令和4年度には76人が登録されています。年3回のガイドボランティア研修講座の開催やガイドボランティアが主体となって企画運営する自主研修講座でガイドとしての資質向上に努めています。
- ・これまでも施設の利用促進を図るため、各種広報活動に努めてきたところですが、さらなる利用者拡大を図るため、県内の小中学校に対する広報活動や近隣観光施設との連携・強化に努めていきます。

(2) 施設運営の効率化について

- ・これまでも展示機器の保守点検費用等の節減に努めてきたところであり、今後とも管理費用の節減に努めていきます。
- ・これまでもガイドボランティアの協力のもとで、自然観察会やガイドウォーク等の自然体験プログラムを実施しているところであり、今後とも、民間活力を活かしながらプログラムの量や質の維持向上を図り、効率的な実施に努めていきます。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ① 利用者数を10%増加します。
- ② 利用者アンケートによる満足度100%に高めます。
- ③ 利用者1人あたりの一般財源投入額を5年間で10%削減します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標	基準値 (H29~R1平均)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R9)
① 利用者数	26,634人	28,498人	29,297人
② 利用者アンケートによる満足度	98%	99%	100%
③ 利用者1人あたりの一般財源投入額	56円	53円	50円

※R2は、ホワイトロード通行止めにより、通年閉館

6 目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

①施設の利用促進に向けた取り組み

- ・蛇谷峡谷、三方岩を巡る「まるごと体験教室」や「楽しもう！白山麓days」を開催し、野外活動を含めた体験の充実を図り、さらなる利用者拡大を目指します。
- ・ホームページだけでなく、平成30年1月開設のツイッターも活用し、中宮展示館周辺の自然情報やイベント案内などの情報を発信し、中宮展示館の魅力を伝えます。
- ・学校関係者や児童などの利用者拡大を図るため、白山ろく少年自然の家との連携を強化するとともに、教育委員会等に働きかけ、県内の小中学校に対する広報活動に取り組みます。
- ・近隣観光施設との相乗効果を発揮するため、白山市や中宮温泉組合、一里野温泉観光協会、石川県林業公社（白山白川郷ホワイトロード）などとの連携を強化するのに加え、ホワイトロードで繋がる岐阜県の観光施設に協力も求め、積極的に誘客に努めます。

②サービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・展示館前道路沿いに登り旗を設置、展示館平時開館をアピールしていくこと、また、館内では展示等について、今後も引き続き入館者からアンケートを実施し、その意見を踏まえ、接遇マナーの向上や施設利用の利便性向上に取り組みます。
- ・自然観察会やガイドウォークについては、その魅力をより高め、参加者の増加を図るため、アンケートにより参加者のニーズを把握し、内容の充実に努めます。また、引き続き、ガイドボランティア研修会などを通じて、その資質の向上に努めます。
- ・古い展示物や機材の修繕・新規入替を早急に進め、掲示物や配布資料、観察路の状況（季節ごとの花の開花・分布状況を含め、動植物の動向）など、常に最新のものを準備し、リアルタイムな情報提供ができるよう到来館者の利便性向上を図ります。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・展示用電球のLED化を順次進めるなど、管理費用の節減に努めます。
- ・民間団体等との連携を進め、自然観察会及びガイドウォークの実施回数や質の維持向上、効率的な実施に努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

1 施設の利用状況

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

(単位:人)

項目	H29	H30	R1	R2	R3
利用者数	29,004	31,903	18,995	—	17,307

(2)利用者アンケート指標(利用者サービス、施設の維持管理)

(単位:%)

項目	H29	H30	R1	R2	R3
良い	64	74	68	—	70
概ね良い	35	26	32	—	30
計	99	100	100	—	100
やや悪い	0	0	0	—	0
悪い	1	0	0	—	0

※R2は、ホワイトロード通行止めにより、通年閉館

2 収支の状況

(単位:千円)

項目		H29	H30	R1	R2	R3
歳入	一般財源	1,644	1,644	1,188	498	1,111
	計	1,644	1,644	1,188	498	1,111
	施設管理費	1,473	1,473	1,115	425	1,068
歳出	山の学び舎 事業費	151	151	72	72	40
	ガイドウォーク 事業費	20	20	1	1	3
	計	1,644	1,644	1,188	498	1,111

3 利用者1人あたりの一般財源投入額

(単位:千円)

	H29	H30	R1	R2	R3
一般財源投入額 ①	—	—	—	—	—
職員費除き ①'	1,644	1,644	1,188	498	1,111
利用者数 ②	29,004	31,903	18,995	0	17,307
利用者1人あたり一般 財源投入額 ①÷②	—	—	—	—	—
職員費除き ①'÷②	57	52	63	—	64

※R2は、ホワイトロード通行止めにより、通年閉館